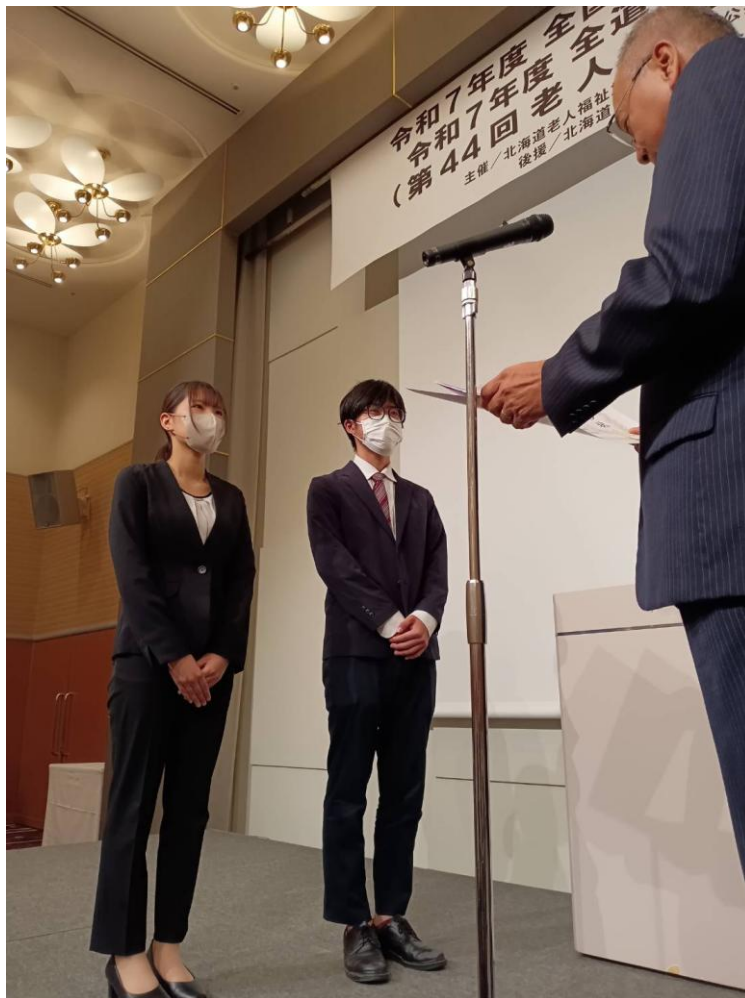




2025年度 事業報告

Report

【 2025. 4. 1 — 2026. 3. 31 】



北海道老人福祉施設研究大会 優秀賞受賞
「自立支援介護で、自宅へ帰る」

「基本理念」

ご利用者の「健やかな生活」の実現のため、心をこめた福祉サービスの提供を
全力で実行します。

2025年度 経営報告

Purpose 人々の豊かな生活、地域社会、そして日本を支える「福祉」
私達は「誇り」を持って、日本の福祉を「創造」し、「挑戦」します

1. 総括

《はじめに》

近年、物価の高騰や人材の流動化が加速し、福祉業界を取り巻く環境は大きく変化しています。さらに、世界情勢の不安定化等により、社会全体が予測困難な時代にあります。

こうした中、法制度による厳格な規制や公定価格のもとで運営を行う当法人の経営基盤も、決して安定しているとは言えません。しかし、私たちは「変化を恐れず、挑戦を楽しむ」という前向きな姿勢を大切にし、職員とともに考え、歩みを進めていきます。

2025年度は、各施設・事業所において、ご利用者数の増加等により、経営改善を実現するとともに、幅広い職種・雇用形態の職員の待遇改善を図ることができました。質の高いサービスを継続して提供していくためには、現場を支える職員の待遇向上と職場環境の整備が不可欠です。今後も、ご利用者と同様に、職員にとってもあたたかい法人であり続けることを目指してまいります。

各施設においては、ご利用者がその人らしい暮らしを継続できるよう、専門性の高いチームケアを実践し、地域福祉を支える多機能拠点としての役割を担っています。また、通所・訪問・相談支援等の各事業においても、地域に暮らす高齢者や障がいのある方々の生活を支えています。こうした支援は、職員一人ひとりの献身的な努力によって成り立っており、深い感謝と誇りを感じています。

人材確保においては、特定技能制度による外国籍職員の採用やSNSを活用した採用活動が成果を上げ、安定した人材確保を実現しています。さらに、職員待遇や職場環境の改善、職員育成体制の再構築に取り組んだ結果、定着率が向上し、退職者の減少にもつながっています。

経営面では、賃金や物価の上昇、人材確保・定着に向けた投資等による支出は増加したものの、定着率の向上に伴う時間外勤務の削減や教育コストの適正化により、全体として人件費を抑制することができました。また、各種コストは増加傾向にある中でも、各施設・事業所の運営は概ね順調に推移し、職員待遇や職場環境の改善に加え、将来の施設修繕に向けた資金の積立も行うことができました。

社会福祉法人であっても、一つの企業としての視点が求められる時代です。2026年度においても、経営の安定と人材の確保・定着という課題に真摯に向き合い、持続可能な経営に取り組んでいきます。

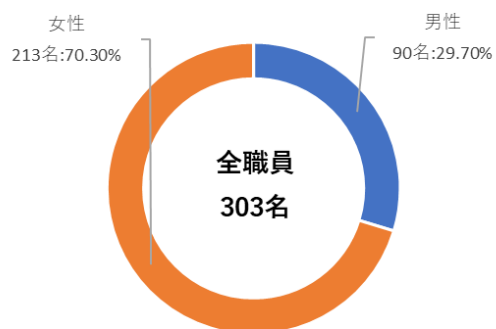
私たちが提供する福祉サービスは、ご利用者お一人おひとりの暮らしを支え、地域社会の安心につながる重要な役割を担っています。ご利用者はもちろん、職員もその人らしく豊かな日々を送ることができるよう、今後も着実に持続可能な法人経営を推進していきます。

引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

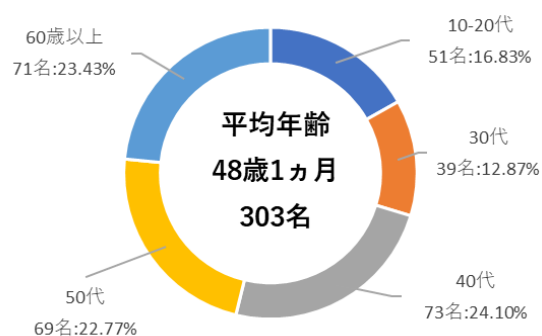
感謝 法人役員一同

2. 法人の基本データ（職員について）

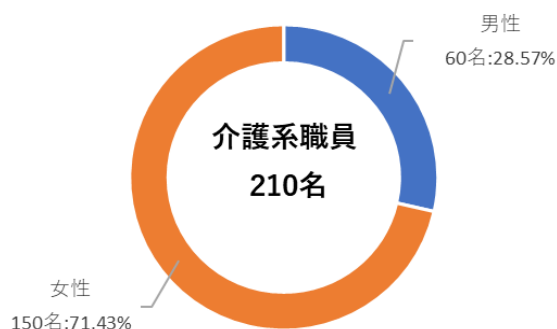
職員 男女比



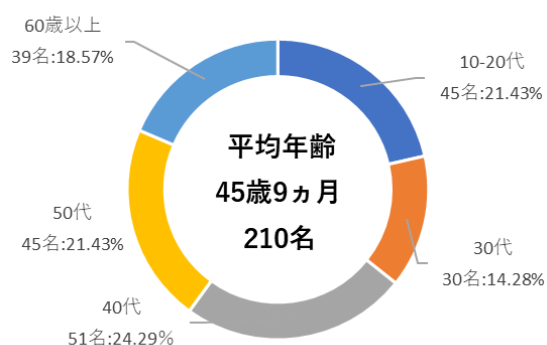
職員 年齢構成比



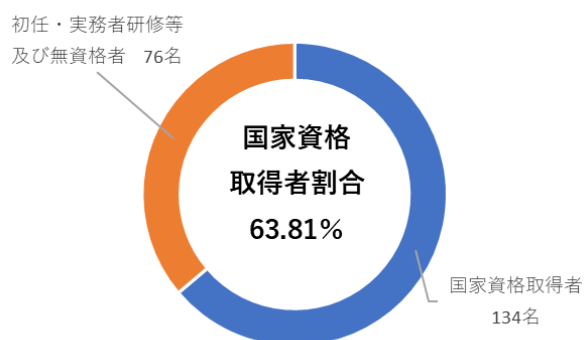
介護系職員



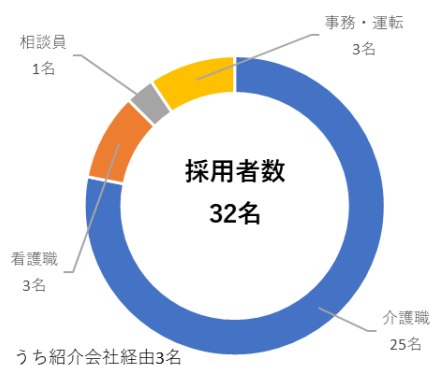
介護系職員 国家資格取得者数



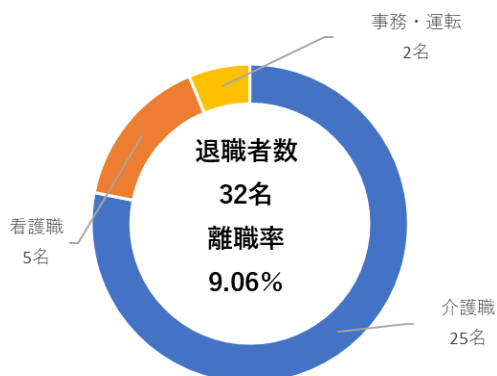
介護系職員 国家資格取得者数



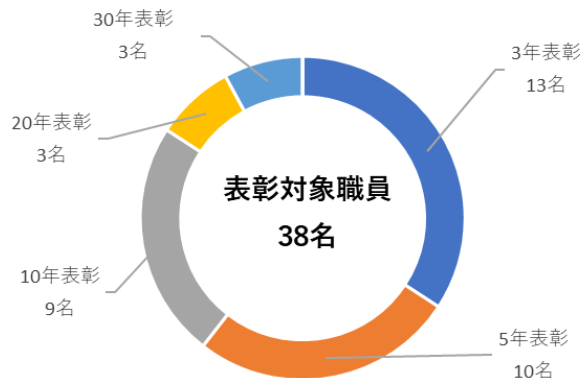
年間採用者数



年間退職者数



永年勤続表彰者



【平均勤続年数】 9年2ヵ月（介護系職員:8年10ヵ月）

【障がい者の雇用率】 3.81%（9名雇用） ※法定雇用率2.50%

3. 2025年度 経営方針（中期経営方針2025-2027年度）に対する成果と課題

（1）誰もが、その人らしく暮らすことができることを願い、行動します

私たちは、「その人らしい暮らし」を大切にするケア、在宅復帰を可能とする科学的根拠に基づくケア、ターミナル期に寄り添うケアの実践に取り組んでいます。特別養護老人ホーム和幸園と障がい者支援施設グリーンハイムの運営を通じて、ご利用者一人ひとりの個別性を尊重した支援を積み重ねてきました。また、高齢者・障がいのある方・子ども等、すべての人がその人らしい生活を継続できるよう、多様性を重視した在宅福祉サービス（通所・短期入所・訪問介護）や相談支援事業（居宅介護支援・相談支援・介護予防）を展開しています。

地域福祉の拠点としての役割を担う社会福祉法人として、地域貢献活動の実施、福祉現場からの研究発表や公開研修会の開催に取り組むとともに、地域住民や各種団体、他産業との連携を深めながら、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりを推進していきます。

- ◆ 特別養護老人ホーム和幸園では、「自立支援介護（日中おむつゼロ）」の実践に取り組むとともに、ケアの効果測定及び実践事例の研究発表を行いました。その成果が評価され、北海道老人福祉施設研究会において優秀賞を受賞しました。
- ◆ 札幌市障がい者相談支援事業の受託や緊急ショートステイの受け入れを行うとともに、札幌市障がい福祉計画の推進に係る各種協議会に参画し、地域福祉の拠点としての役割を果たしています。
- ◆ 地域貢献事業として、地域の高齢者や障がいのある方の外出を支援する「いしやま朝市送迎バス」の運行、認知症の高齢者を介護するご家族を対象とした「認知症状改善塾」を継続しています。また、北海道身体障害者福祉施設協議会主催「fuku link expo 2025（介護のしごと魅力アップ推進事業補助金）」の主管法人として、イベントの企画・運営を担いました。さらに、札幌市主催「さっぽろシゴト博」への出展を行う等、福祉人材の確保に向けた取り組みを推進しました。加えて、災害時における地域福祉の拠点として、関係機関との連携強化や地域社会への情報発信・情報共有にも取り組みました。

【課題】

- ◆ より多くの方に選ばれるサービスとケアを実践するとともに、各施設・事業所のブランディング（付加価値）を確立します。あわせて、SNS等を活用し、情報発信力の強化を図ります。
- ◆ 当法人が、高齢者及び障がいをお持ちの方にとっての地域福祉拠点（災害時含め）となることを目指し、地域ニーズ・課題解決に向けた地域活動に取り組みます。

（2）職員が、専門職、組織の一員として、成長できる環境創りを目指し、行動します

社会全体で人材の流動化が加速する中、介護・福祉業界における人材流出は喫緊の課題となっています。こうした状況を踏まえ、当法人では特定技能制度を活用した外国籍職員の採用に着手し、現在17名の職員が活躍しています。2026年度には、新たに3名の方の入職が予定されています。また、多様な働き方への対応や各種加算・補助金を活用した待遇改善、SNSを活用した採用活動により、採用活動の促進と採用のミスマッチ防止に取り組みました。あわせて、職員面談や育成面談の実施により、離職率は低下傾向となっています。さらに、法人独自の介護福祉士資格取得支援制度により、本年度は受験者8名全員が合格する成果を上げることができました。

- ◆ 特定技能制度による職員採用を通じて、優秀な人材を多数採用することができました。また、外国籍職員の育成を行うことで、育成担当職員の成長と育成方法の再検討を行う機会となっています。

- ◆ キャリアアップの機会の提供として、法人内実務者研修教室の開校及び給付型奨学金制度の導入、介護福祉士国家資格勉強会の開催等、介護福祉士国家資格取得支援の拡充に取り組みました。
- ◆ 処遇改善加算、補助金を活用し、介護・生活支援員の他、処遇改善手当対象外の職種に対する待遇改善を図るとともに、定年後の再雇用職員への待遇改善等、社会情勢に合わせた公平性の高い各種規程の改正を実施しました。
- ◆ 特別養護老人ホーム和幸園では、補助金を活用した機械浴槽の導入により、ご利用者の満足度向上とともに業務負担軽減に取り組みました。障がい者支援施設グリーンハイムでは、Wi-Fi インカムシステムの拡大により、職員間コミュニケーションの促進と業務負担軽減に効果がみられています。その他、リハビリ機器、見守りセンサー付ベッドや自動体位変換マットレス、移乗機器等を各施設で導入し、ご利用者の安全確保と業務負担軽減に取り組んでいます。

【課題】

- ◆ 法人の方針や事業内容を理解した職員の採用を促進するため、SNS や法人ホームページ、Indeed 等を活用した採用を進めるとともに、採用チャネル・ツールの強化に取り組みます。
- ◆ 専門職研修、キャリアアップ研修を実施するとともに、役職者向けのコミュニケーション・労務マネジメント等の研修を行い、職員の定着率の向上に取り組みます。
- ◆ ICT システムと介護ロボット、介護機器等の導入により業務負担の軽減を図るとともに、職場環境の改善のための設備投資を行います。

(3) 持続可能な経営・組織基盤の確立のため、行動します

安定した経営基盤の確立に向け、コンプライアンス及び透明性の高い経営を基礎とし、経営実績や財務状況に関する明確な目標を設定したうえで、各施設・事業所の経営改善に取り組みました。各施設・事業所において、ご利用者数の増加及び業務改善等による人員配置の調整を推進することにより、経営改善を実現するとともに、幅広い職種・雇用形態の職員の待遇改善にもつなげることができました。

事業活動収入（売上高）は、1,724,846千円（前年度比76,925千円増収）、事業活動支出は、1,557,727千円となり、前年度に実施した人材確保及び育成への先行投資の効果により、職員の定着と育成が進み、適正な人員配置と時間外勤務の削減（27.6%減少）等により人件費を抑制することができました。加えて、物価高騰への対応として各種契約内容の見直しを行い、事務費・事業費支出は予算の範囲内となりました。その他、設備資金借入金償還支出39,672千円、固定資産取得支出8,863千円、ファイナンスリース債務の返済支出5,638千円、積立資産支出42,903千円（うち修繕費積立支出20,000千円）、当期資金収支差額は72,596千円、当期活動増減差額は60,836千円（うち減価償却費118,227千円、国庫補助金等積立金取崩額32,507千円）となり、健全な経営を継続することができました。

- ◆ 各施設・事業所において、利用稼働率の向上及び適正な人件費管理を推進した結果、経営改善を図ることができました。
- ◆ 社会福祉法等の関係法令に基づき、理事会・評議員会を開催し、予算、事業計画、決算、事業報告、各種規程の改正等、法人及び事業所の経営に関する重要事項について適正に決議しました。
- ◆ 情報公開（定款、各種規程、事業計画、予算、事業報告、決算、介護職員処遇改善計画等）及びアカウントビリティ（説明責任）の強化に向け、内部では法人内ネットワークシステムを活用し職員との情報共有を推進しました。また、SNS を活用した情報発信に取り組みました。

- ◆ 業務効率化及び職員の業務負担軽減を目的として、ICT 機器や介護ロボット・介護機器の導入等の設備投資を行いました。

【課題】

- ◆ 各施設では、入院者の増加に対し、協力医療機関との連携体制の再構築及びベッドコントロールの精度向上を図り、経営の安定化に継続して取り組みます。
- ◆ 経営資源の一つである SNS（Instagram、YouTube、LINE 等）を効果的に活用し、認知度と信頼性の向上を図ることで、地域から選ばれ続ける施設・事業所を目指します。
- ◆ 通所事業及び地域事業については、適正な人員配置の見直しと業務の整理・効率化、ICT の活用により、中・長期的な視点に立った経営体制の構築に取り組みます。
- ◆ 各施設の修繕・改修に加え、ICT 機器や介護ロボット等の導入による業務効率化と職員の業務負担軽減を進めるとともに、ご利用者・職員双方にとって快適な環境整備を推進します。あわせて、バックオフィス業務への AI 導入及び効果的なアウトソーシングの活用にも取り組みます。

法 人 事 務 局

1. 事業報告総括

(1) 法人事務局の運営実績について

法人事務局では、理事会・評議員会における予算、事業計画、決算、事業報告、規程改正、法人及び各施設・事業所の経営に関する重要事項の決議に基づき、コンプライアンスを基本とした適正な法人運営を推進するための業務の遂行に努めました。また、法人の健全な経営と透明性の高い運営を目指し、定期的な監事監査を実施するとともに、顧問社会保険労務士や顧問弁護士からの助言や指導を受けることで、法・制度に対応した適正な労務・会計手続き、ご利用者預り金の管理業務を円滑に実施しました。さらに、防災体制や施設設備、車両の維持管理業務を実施し、安全で快適な環境の確保に努めました。

経営面では、行政や公益団体等が実施する各種補助金の積極的な活用に取り組みました。ICTの導入や介護ロボット・介護機器の導入、職員のキャリアアップを支援する研修費用、社会福祉法人減免制度を活用した利用者負担額軽減等に係る各種補助事業を活用しました。その他、医療・福祉分野における物価高騰等に対応するための補助事業を活用する等、法人全体で合計26,945千円を超える補助金の交付を受けました。これらの補助事業は、法人の健全な経営を支え、今後の発展に貢献する重要な財源となっています。

2. 法人運営状況

(1) 役員体制

役 職	氏 名	職 業	任 期
理事長	石川 由男	学識経験者：春野会計事務所 代表税理士	2025. 6. 14 ～ 2027. 6
常務理事	平松 朋紀	職員：総合施設長・法人事務局長	2025. 6. 14 ～ 2027. 6
理 事	大沼 百合子	学識経験者：当法人元常務理事	2025. 6. 14 ～ 2027. 6
〃	檜 森 道子	学識経験者：当法人元地域事業部部長	2025. 6. 14 ～ 2027. 6
〃	星 野 八重子	職員：和幸園施設長	2025. 6. 14 ～ 2027. 6
〃	五十嵐 敦子	職員：グリーンハイム施設長	2025. 6. 14 ～ 2027. 6
監 事	伊藤 敏幸	学識経験者：他社会福祉法人施設長経験者	2025. 6. 14 ～ 2027. 6
〃	平田 清悦	財務学識経験者：平田清悦税理士事務所 所長税理士	2025. 6. 14 ～ 2027. 6

役 職	氏 名	職 業	任 期
評議員	浅香 博文	学識経験者：社団法人会長（福祉関係）	2025. 6. 14 ～ 2029. 6
〃	岩本 龍明	地域の代表：会社経営者	2025. 6. 14 ～ 2029. 6
〃	大磯 英太郎	地域の代表：会社経営者・石山商店街振興組合理事	2025. 6. 14 ～ 2029. 6
〃	塩田 恒雄	地域の代表：芸術の森地区社会福祉協議会会長	2025. 6. 14 ～ 2029. 6
〃	瀧川 尚規	学識経験者：他社会福祉法人施設長	2025. 6. 14 ～ 2029. 6
〃	千葉 徹	学識経験者：他社会福祉法人理事長	2025. 6. 14 ～ 2029. 6
〃	福士 昭夫	地域の代表：石山地区町内会連合会会長	2025. 6. 14 ～ 2029. 6
〃	藤沢 美穂子	地域の代表：札幌市赤十字奉仕団石山分団長	2025. 6. 14 ～ 2029. 6

(2) 理事会開催状況

- 第1回 2025年 5月24日(土) 午後2時～午後3時
出席 太田三夫、平松朋紀、石川由男、大沼百合子、檜森道子、星野八重子(理事6名)
平田清悦、伊藤敏幸(監事2名)
協議事項 2024年度 事業報告(案)について
2024年度 決算報告(案)について
監事監査(2024年度全般)結果について
次期役員(理事・監事)候補者の選定について
定時評議員会の開催について
- 第2回 2025年 6月14日(土) 午後5時～午後5時20分
出席 石川由男、平松朋紀、大沼百合子、檜森道子、星野八重子、五十嵐敦子(理事6名)
平田清悦、伊藤敏幸(監事2名)
協議事項 理事長の選任について
常務理事の選任について
- 第3回 2025年 9月27日(土) 午後2時～午後3時30分
出席 石川由男、平松朋紀、大沼百合子、檜森道子、星野八重子、五十嵐敦子(理事6名)
平田清悦、伊藤敏幸(監事2名)
協議事項 役員等賠償責任保険の契約(更新)について
施設長等の役員(理事)の定年について
- 第4回 2025年12月20日(土) 午後2時～午後3時
出席 石川由男、平松朋紀、大沼百合子、檜森道子、星野八重子、五十嵐敦子(理事6名)
平田清悦、伊藤敏幸(監事2名)
協議事項 厨房業務委託契約の更新について
- 第5回 2026年 3月28日(土) 午後2時～午後3時30分
出席 石川由男、平松朋紀、大沼百合子、檜森道子、星野八重子、五十嵐敦子(理事6名)
平田清悦、伊藤敏幸(監事2名)
協議事項 2025年度 第1次収支補正予算(案)について
2026年度 事業計画(案)について
2026年度 収支予算(案)について
給与規程の改正について

(3) 評議員会開催状況

- 第1回 2025年 6月14日(土) 午後4時～午後5時
出席 大磯英太郎、塩田恒雄、瀧川尚規、千葉徹、福土昭夫、藤沢美穂子(評議員6名)
平田清悦、伊藤敏幸(監事2名)
太田三夫、平松朋紀、星野八重子(理事3名)
協議事項 2024年度 事業報告(案)について
2024年度 決算報告(案)について
監事監査(2024年度全般)結果について
次期役員(理事・監事)の選任について

(4) 監事監査実施状況

第1回 2025年 5月20日 (決算) 第2回 2025年 9月18日 (定期)
第3回 2025年12月11日 (定期) 第4回 2026年 3月19日 (定期)

(5) 各種指導監査

札幌市実地指導 (ハピりす保育園) 指導事項なし
企業主導型保育事業立入調査: (独) 児童育成協会 指導事項なし

(6) 法人全体研修

※他法人職員公開研修

	研修名	開催状況
1	虐待防止・身体拘束廃止の知識を現場に活かす 講師 池田ひろみ 氏 (合同会社うえるかむ)	2025年 8月27日 18:10~19:30 受講者76名
2	食べるを支えよう! ~摂食・嚥下・口腔ケア~ 講師 松澤 優 氏 (中村記念病院 看護師)	2025年10月24日 18:10~19:30 受講者68名
3	職場におけるパワーハラスメント予防研修 講師 倉 雅彦 氏 (社会保険労務士事務所テラス)	2025年11月18日・20日 16:30~18:00 受講者48名
4	安全運転講習会 講師 佐々木 厚史 氏 ((有) オフィスブレイン)	2025年12月 3日 18:10~19:30 受講者46名
5	介護福祉士国家試験直前対策講座 講師 宮下 史恵 氏 (旭川大学)	2025年12月15日 14:00~18:00 受講者 8名
6	体軸トレーニングで心身を整える! 講師 上山 純一 氏 (パーソナルトレーナー)	2025年12月16日 18:10~19:30 受講者45名
7	ゆるめて整える♪心と身体のリセット 講師 東 一恵 氏 ((株)心理カウンセリング・ココ)	2026年 3月 5日 18:10~19:30 受講者42名
8	介護福祉士受験対策講座 講師 法人職員	2025年 7月~2026年1月 受講者 8名
9	介護福祉士 実務者研修 (通信コース) 日建学院札幌校 (福) 北海道ハピニス教室	2025年 7月~12月 受講者 9名

(7) 防災訓練実施状況

実施日	実施内容
2025年 6月13日	<p>【火災避難訓練】 初期消火・通報・ご利用者の避難誘導訓練</p> <p>グリーンハイムより出火想定訓練(和幸園合同) 夜間 午後11時00分出火想定 グリーンハイム本館2階北居室出火想定 (他階及びデイサービスでは日中想定訓練)</p>
2025年 6月13日	<p>【土砂災害避難訓練】 ご利用者の避難訓練及び建物・敷地内の危険箇所の有無確認</p> <p>集中豪雨発生(札幌市内)による危険個所の探索及びBCP発動の想定訓練(和幸園) 日中 午前11時00分BCP発動想定</p>
2025年 9月12日	<p>【火災対応訓練】 初期消火訓練</p> <p>火災発生想定での消火器使用訓練 (グリーンハイム玄関前)</p>
2025年10月 8日	<p>【火災避難訓練】 初期消火・通報・ご利用者の避難誘導訓練</p> <p>和幸園より出火想定訓練(グリーンハイム合同) 夜間 午後11時00分出火想定 和幸園2階2条3丁目居室出火想定 (他階及びデイサービスでは日中想定訓練)</p>
2025年10月 8日	<p>【土砂災害避難訓練】 ご利用者の避難訓練及び建物・敷地内の危険箇所の有無確認</p> <p>集中豪雨発生(札幌市内)による危険箇所の探索及びBCP発動の想定訓練(グリーンハイム) 日中 午前11時00分BCP発動想定</p>
2025年10月15日	<p>【他施設共同での災害対応訓練】 地震災害時の対応訓練</p> <p>震度7の地震発生によるブラックアウト、インフラ不全時の他施設への職員派遣訓練及び福祉避難所開設・要配慮者受入れ訓練・研修</p>
2025年11月 4日	<p>【緊急連絡・参集訓練】 グループLINEによる連絡訓練</p> <p>地震発生により、ブラックアウトとなったことを想定した夜間緊急連絡訓練(グループLINE) 夜間 午前4時30分想定</p>
2025年12月 9日	<p>【土砂災害避難訓練】 保育園園児の避難訓練</p> <p>地震発生(土砂災害対応)による避難訓練(ハピりす保育園) 日中 午前10時25分想定</p>
2025年12月12日	<p>【地震災害時対応訓練】 地震災害時の対応訓練 (発電機稼働訓練)</p> <p>地震発生による危険個所の探索及びブラックアウト想定での発電機稼働訓練 日中 午前11時30分想定</p>
2025年12月15日	<p>【洪水浸水災害避難訓練】 ご利用者避難等机上訓練</p> <p>集中豪雨発生(札幌市内)による避難訓練(あうるの森) 日中想定</p>
2026年 2月 3日	<p>【BCP策定委員会及び机上訓練】 対策本部、拠点对策本部機能強化訓練</p> <p>各施設・事業所のBCP(感染症含む)の策定と机上訓練の実施等(情報・意見交換)</p>
2026年 3月28日	<p>【土砂災害避難訓練】 ご利用者の避難訓練及び建物・敷地内の危険箇所の有無確認</p> <p>地震発生による危険個所の探索及び避難訓練(のえるの森) 日中 午後1時15分想定</p>

(8) ご利用者預り金管理

区 分	預り人数	預り金残高 (2026.3.31)
グリーンハイム	60名	146,491,818円
和幸園	2名	503,027円

(9) 地域貢献活動

- ・ fuku link expo2025 (障がい者に特化した介護のしごと魅力アップ推進事業)
- ・ さっぽろシゴト博への出展 (札幌市主催)
- ・ 認知症状改善塾
- ・ いしやま朝市送迎バス
- ・ 石山地区清掃活動(春・秋 年2回)
- ・ 学生ボランティアの受け入れ

(10) 広報活動 (広報委員会)

- ・ 広報誌「かけはし」の作成 (年2回発行)
2025年11月発行 (60号)、2026年3月発行 (61号)
- ・ ホームページの運営
- ・ Instagram、LINE、YouTube の運営

(11) 業務委託状況

2026年3月31日現在

業務内容	業務委託先
施設厨房業務	(株) エムズフード
夜間施設警備業務	北海道東急ビルマネジメント (株)
送迎車輛運転業務 (真駒内駅送迎)	(株) 虹色トラベル (2026年1月より業務委託先変更)
施設内清掃業務	(株) シムス
昇降機定期点検業務	SEC エレベーター (株)
専用水道水質検査業務	(財) 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター
自動ドア保守点検業務	フルテック (株)
非常火災設備保守点検業務	(株) ネットワークイン
施設敷地等除雪業務	(有) グッドウイング
デジタル交換機保守 (電話機器)	新日本通信工業(株)
労務・総務業務顧問	社会保険労務士事務所テラス
法務顧問	太田・遠藤法律事務所
給与計算業務	北海道サービス (株)
職員検診	医療法人社団明日佳 札幌検診センター
ストレスチェック	医療法人社団五稜会 札幌 CBT&EAP センター

(12) 法人建物・車輛の維持管理

① 建物

実施内容		
4月	貯水槽清掃	(株) 小川技研
5月	厨房用ヒートポンプ外調機点検整備	正栄機工 (株)
	エコキュート点検整備	(株) 前川製作所
6月	汚水槽清掃点検	(株) 小川技研
9月	消防用設備保守点検及び屋上非常用発電機	(株) ネットワークイン
10月	厨房グリストラップ清掃	(株) 小川技研
11月	厨房用ヒートポンプ外調機点検整備	正栄機工 (株)
	汚水槽清掃点検	(株) 小川技研
12月	エコキュート点検整備	(株) 前川製作所
2月	2号ボイラー点検整備	(株) NTEC サービス
毎月	専用水道水質検査	(財) 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター
年6回程度	電気設備点検及び屋上非常用発電機	北海道電気保安協会 (財)
年4回程度	暖房用非常用発電機 (非常用発電機試運転)	北海道電気保安協会 (財)、法人担当職員

② 車輛

車輛台数 32台 (内リース車両 26台)

2026年3月31日現在

所 属	台 数
グリーンハイム・和幸園職員送迎バス	1台
障がい者支援施設グリーンハイム	4台
特別養護老人ホーム和幸園	3台
和幸園デイサービスセンター	5台
生活介護事業所グリーンハイム	3台
和幸園芸術の森デイサービスセンター のえるの森	3台
和幸園指定居宅介護支援事業所 (介護予防センター石山・芸術の森)	5台
グリーンハイム・和幸園ホームヘルプサービス事業所	3台
和幸園自立訓練型デイサービスセンター あうるの森	2台
相談支援事業所グリーンハイム	3台
計	32台

各施設及び各職域の事業報告

障がい者支援施設グリーンハイム ～ since 1973 ～

1. 事業報告総括

ご利用者の心身の障がいへの理解を深め、専門的なアセスメントに基づく個別支援計画によりケアを実践しました。また、レクリエーション係を中心に行事を企画・運営し、ご利用者同士の交流機会を創出するとともに、個々が楽しみを持てる生活の実現に取り組みました。さらに、「地域生活支援拠点」としての役割を担い、ご利用者及び地域住民が安心して生活できる体制づくりに向け、各種関係機関とのネットワーク構築を進めています。加えて、2025年度より義務化された「地域連携推進会議」を11月に開催し、ご利用者、ご家族、有識者、地域の代表者及び札幌市職員に対して日々の取り組みを報告しました。

経営面では、施設入居の稼働率は前年度を上回ったものの、目標稼働率から2.76%減の95.24%となりました。一方、ショートステイでは、入院中の空床活用や緊急対応等により、年間を通じて144.0%と高い稼働率を維持しました。その結果、施設入居とショートステイを合わせた総合稼働率は97.12%となりました。引き続き、相談支援事業所や他事業所との連携を強化するとともに、入居待機者の確保に向けた取り組みを進めます。

生活支援員の配置においては、特定技能制度による外国籍職員7名の採用や定年退職者の継続雇用により、基準を上回る職員配置を維持しています。一方で、女性ご利用者への同性介護を継続するための女性生活支援員の確保は引き続き課題となっています。その対策の1つとして、働きやすい職場環境の改善の向け、Wi-FiインカムをはじめとしたICT機器や介護機器の導入、業務の整理・効率化、派遣職員・外部単発アルバイトの活用等により、超過勤務の軽減や急な職員不足への対応を図り、職員の負担軽減に取り組んでいます。

2. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況（定員／入居100名、短期4名）

2026年3月31日現在

職名	職員数	常勤換算数	備考
施設長	1名	0.5名	社会福祉士／精神保健福祉士／介護福祉士 サービス管理責任者兼務
サービス管理責任者	2名	1.5名	社会福祉士2名／精神保健福祉士1名／介護福祉士1名 管理者兼務1名
生活支援員（相談）	9名	64.6名	相談員 常勤2名：社会福祉士2名 相談員補助 非常勤6名
生活支援員（介護）	48名		常勤41名、非常勤8名：介護福祉士32名、 （精神保健福祉士1名、社会福祉士1名）
看護職員	16名		併設施設兼務15名、夜勤専従1名 （常勤換算 6.6名 うち生活介護4.0名）
機能訓練指導員	2名		理学療法士 常勤2名 併設施設兼務1名 （常勤換算 1.5名）
医師	2名	0.2名	定山溪病院 配置医（週1回往診）
管理栄養士	1名	1.0名	

(2) 職員研修実施状況

開催日	研修名	講師	参加職種
10月28日	北海道身体障害者福祉施設協議会職員研修会	外部講師	施設長、看護職員、生活支援員(介護)、管理栄養士、理学療法士
11月12・13日	全国身体障害者施設協議会地域生活支援推進研究会議	外部講師	施設長
2月18日	北海道身体障害者福祉施設協議会研究セミナー	外部講師	施設長、自立支援課長、看護職員、生活支援員(介護)、管理栄養士
毎月	緊急時対応訓練(夜間・窒息等)	リスクマネジメント委員	各グループ生活支援員(介護)
随時	北海道強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修)	外部講師(web及び集合)	生活支援員(介護)16名、生活支援員(相談)3名
随時	北海道強度行動障がい支援者養成研修(実践研修)	外部講師(web)	自立支援課長
随時	プリセプター研修	生活係長	生活支援員(介護)
随時	障がいの理解	施設長	生活支援員(介護)
随時	排泄委員会	外部講師(web)	排泄委員
随時	ケア技術研修(全5回)	リーダー職	新人生活支援員(介護)
随時	摂食・嚥下について	生活係長	新人生活支援員(介護)
随時	車椅子について	理学療法士	新人生活支援員(介護)
随時	口腔ケアについて	外部講師(歯科衛生士)	新人生活支援員(介護)
随時	排泄について	外部講師(web)	新人生活支援員(介護)

(3) ご利用者状況

① 入退居状況

	2025. 4. 1	2025. 4. 1 ~ 2026. 3. 31		2026. 3. 31
	在籍者	入居者	退居者	在籍者
男性	53	7	6	54
女性	47	6	5	48
計	100	13	11	102

② 退居理由

	2025年度	うちターミナルケア	2024年度
ご逝去	3	1	9
他の施設・病院	6	0	5
家庭復帰(地域移行)	2	0	1
計	11	1	15

③ 月別平均利用者数（定員／入居100人、短期4人）

	入居			ショートステイ		
	2025年度	2024年度	2023年度	2025年度	2024年度	2023年度
4月	94.00	95.33	95.33	6.53	3.83	6.03
5月	93.77	95.42	95.42	6.06	4.23	5.65
6月	94.17	94.27	97.03	4.97	4.80	5.37
7月	96.74	94.03	96.42	5.58	6.03	5.03
8月	95.97	92.48	96.42	6.19	6.26	5.84
9月	94.97	89.47	93.30	5.17	7.47	6.00
10月	91.90	93.81	90.97	4.45	6.58	6.52
11月	94.40	93.23	93.53	5.50	5.87	5.83
12月	96.71	96.10	95.84	6.00	5.61	5.26
1月	96.29	90.19	95.65	5.90	4.74	5.19
2月	97.57	93.00	95.38	6.32	5.89	5.21
3月	96.42	94.48	96.45	6.48	6.61	5.58
年間実績	95.24名	93.48名	95.15名	5.76名	5.66名	5.63名
年間稼働率	95.24%	93.48%	95.1%	144.06%	141.50%	140.65%

④ 年齢別状況

	18～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～	計
男性	0	3	7	10	10	10	6	6	2	54
女性	0	1	6	7	9	6	10	7	2	48
計	0	4	13	17	19	16	16	13	4	102

⑤ 障がい支援区分

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	6	7	14	27	54
女性	2	5	12	29	48
計	8	12	26	56	102

⑥ 事故報告件数

	事故件数	
	2025 年度	2024 年度
転倒・転落	54	62
服 薬	48	55
異 食	0	0
介 護	27	43
誤 嚥	1	5
計	130	165

⑦ 苦情受付件数

	件 数
食事に関すること	0
設備に関すること	0
行事・活動に関すること	0
職員に関すること	0
ご利用者に関すること	0
その他	0
計	0

(4) グリンハイム訓練業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別訓練	125	133	132	126	139	119	123	127	123	82	118	131	1,478
集団訓練	20	22	5	6	27	9	22	20	18	3	6	32	190
参加延べ人数	145	155	137	132	166	128	145	141	141	85	124	163	1,662
クロスステップ延べ人数	0	0	0	0	0	0	0	5	11	12	12	11	51

(5) 地域連携推進会議

実施日	参加者	内 容
11月25日	ご利用者、ご利用者家族、地域関係者、福祉・経営の有識者、 札幌市障がい福祉課（2名）、施設職員（7名） 計13名	<ul style="list-style-type: none"> ・施設概要説明、見学 ・施設運営内容と職員体制 ・ご利用者の権利擁護 ・法人及び施設の経営

(6) 年間行事報告

実施日	行事名	内 容
4月 21日、5月 29日	ご当地フェア	エムズフード主催 全国ご当地メニュー
4月 18日	洋品店訪問販売	商品を見ながら、春物の洋服選びや購入
5月 21日、5月 30日	ボーリング大会	臨場感あるボーリング(補助付き)
6月 10日、6月 12日、6月 18日	ジンギスカン	屋外でジンギスカンを炭火で調理
6月 20日	洋品店訪問販売	商品を見ながら、夏物の洋服選びや購入
7月 4日、7月 16日、7月 18日	天ぷらの日	目の前で調理した揚げたて天ぷら等
8月 19日、8月 21日、8月 22日	甘味処	テーマ「ハワイアン」 和洋のスイーツ
9月 10日	敬老の集い	65歳以上の方々を対象にお祝いの会を催し ご利用者全員にお祝いのお膳
10月 29日	洋品店訪問販売	商品を見ながら、秋冬物の洋服選びや購入
10月 15日	秋の味覚の日	ほかほかの秋の味覚 鮭・栗ご飯など
11月 19日、11月 21日	寿司の日	目の前で寿司職人が握ったお寿司
12月 18日、12月 19日	クリスマス忘年会	会食と演芸やゲームで楽しむ
12月 26日	餅つき	新年を迎える伝統行事 杵と臼で餅つき
1月 1日	新春ゲーム大会	グループ毎に新春祝いのレクリエーション
1月 30日	節 分	鬼が登場し豆まき 厄を祓う
2月 4日・5日・6日 3月 4日・5日・6日	鍋の日	寄せ鍋 すき焼き を目の前で調理
3月 17日、3月 18日、3月 19日	利用者懇談会	グループ毎に開催
5月～3月(計9回)	食品訪問販売	多目的ホールにて食料品訪問販売 商品を見ながら食料品等の購入

特別養護老人ホーム和幸園 ～ since 1975 ～

1. 事業報告総括

介護の専門性を目指し、「水分・常食・運動・排泄」の4つの基本ケアを中心とする自立支援介護に取り組みました。和幸園を利用する付加価値である自立支援介護の提供を通じて、ご利用者の心身機能の回復・向上に取り組みました。また、その効果測定と評価を行い、外部に向けた実践発表を実施しました。

経営面では、退去者数が前年比約30%減となり、入院者の空床をショートステイで活用する等の取り組みを行いました。その結果、和幸園全体の稼働実績は96.83%となり、昨年度の稼働率94.63%を大きく上回ることができました。

職員の採用・定着においては、2024年度の退職者22名に対し、2025年度は11名と半減しました。働きやすい職場環境の改善の向け、入浴支援機器をはじめとした介護機器、IT・ICT機器の導入、業務の整理・効率化、外部単発アルバイトの活用等により、超過勤務の軽減や急な職員不足への対応を図り、職員の負担軽減に取り組んでいます。

2. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況 (定員/入居120名、短期19名) 2026年3月31日現在

職名	職員数	常勤換算数	備考
施設長	1名	1.0名	社会福祉士/介護福祉士/介護支援専門員
生活相談員	4名	3名	常勤4名(介護支援専門員兼務2名) 社会福祉士4名/介護福祉士2名
介護支援専門員	3名	2名	専従1名 生活相談員兼務2名
介護職員	86名	73.1名	常勤61名、非常勤25名(常勤換算73.1名) :介護福祉士57名
看護職員	15名	5.1名	常勤1名、併設施設兼務14名(常勤換算5.1名)
医師	2名	0.2	定山溪病院 配置医(週1回往診)
機能訓練指導員	2名	1.5名	理学療法士 常勤2名 併設施設兼務1名 (常勤換算1.5名)
管理栄養士	1名	1.0名	常勤1名

(2) 職員研修実施状況

開催日	研修名	講師	参加職種
4月 15・17日	明日から実践！ポジショニング ～ポジショニングの方法・間接法の意義	外部講師 (web)	訓練係長、理学療法士
5月 13日	特養の生き残り戦略	外部講師 (web)	施設長、相談課長、相談員
5月 19日	摂食嚥下の評価と口腔ケアの研修会	外部講師 (web)	施設長、管理栄養士
6月 20日	排泄ケア成功に欠かせない多職種連携	外部講師	介護リーダー、介護職員
7月 5日	医療介護現場で役立つ食物繊維 WEB セミナー	外部講師 (web)	管理栄養士
7月 23日	感染委員会「食中毒について」(委員会内研修)	管理栄養士・伝達研修	施設長、生活係長、介護職員、 看護職員
8月 6日	科学的介護フォーラム in 札幌	外部講師	相談課長
8月 21日	最新の体圧分散式寝具とポジショニング	外部講師 (web)	理学療法士
9月 4日	令和7年度全国老協北海道ブロック大会 (研究発表会)	外部講師	施設長、相談課長、相談員、介護職員
9月 17日	Care TEX 札幌' 25	外部講師	管理栄養士
9月 19日 10月 30日	カテーテル取り扱い研修	施設看護職員	介護職員
10月 2日	「虐待防止と身体拘束廃止の知識を現場に活かす」 ～利用者本位のより良い介護を目指して～ (委員会研修)	相談員・伝達研修	介護職員
10月 15日	「緊急時の対応方法について」(委員会研修)	相談員・伝達研修	介護職員
10月 24日	認知症介護実践リーダー研修 (全5日間)	外部講師	介護主任
11月 12日	「ポジショニングについて」(委員会研修)	理学療法士・伝達研修	施設長、介護職員、看護職員、相談員
11月 26日	「インフルエンザ」(委員会研修)	看護職員・伝達研修	介護係長、介護職員、理学療法士
11月 27日	ターミナルケアについて	施設看護職員	介護職員
12月 13日	事故を防ぐ「意味あるヒヤリハット報告書」 「リスクを減らす事故報告書」記載ポイントと体制作り (委員会研修)	施設相談員・介護職員	介護職員、施設長、理学療法士
11月 27日	排泄研修 (パット、おむつの当て方) (全3日間)	外部講師	介護主任
1月～3月	ユニットリーダー研修 (全7日間)	外部講師 (web 及び集合)	介護主任
2月 26日	令和7年特定給食施設等研修会	外部講師 (web)	施設長、管理栄養士
3月 27日	「その人らしさ」を大切にされたケアを目指して ～介護現場で知っておくべき個人情報とは～ (委員会研修)	相談員・伝達研修	介護職員
年12回	自立支援介護Web研修	外部講師 (web)	介護職員、看護職員、理学療法士、 管理栄養士、生活相談員
随時	認知症介護基礎研修	外部講師 (web)	介護職員
随時	救命救急研修 (全ユニット実施)	ユニット内研修	介護職員、看護職員、相談員、 理学療法士、管理栄養士
随時	介護理念、認知症ケア、プライバシー保護について	施設長	新人介護職員
随時	基本ケア・食事・排泄・移動・感染・オンコールについて	施設介護職員、理学療法士	新人介護職員
随時	感染症について	看護職員	新人介護職員
随時	記録・ターミナルケアについて	介護係長、看護職員他	新人介護職員

(3) ご利用者状況

① 入退居状況

	新規入居者	退居者
男 性	10	13
女 性	17	15
計	27	28

② 退居理由

	2025年度	うちターミナルケア	2024年度
ご逝去	13	9	19
長期入院	15	5	22
家庭復帰	0	0	0
他施設へ入居	0	0	1
計	28	14	42

③ 月別平均利用者数（定員／入居120名、短期19名）

	入 居		ショートステイ	
	2025年度	2024年度	2025年度	2024年度
4月	116.33	110.90	18.33	19.33
5月	116.90	112.23	16.35	19.48
6月	116.87	112.87	17.20	15.90
7月	115.87	118.52	17.03	17.35
8月	113.81	112.29	21.35	19.90
9月	116.20	114.23	21.80	18.80
10月	112.77	115.90	21.23	19.06
11月	113.43	112.27	23.77	16.53
12月	114.97	112.39	20.00	16.23
1月	113.10	111.26	18.52	16.68
2月	116.89	112.71	16.71	19.11
3月	117.81	116.58	18.00	17.84
年 間	115.41名	113.51名	19.19名	18.02名
年間稼働率	96.17%	94.60%	101.00%	94.82%

④ 新規入居者の状況（入居前の居所）

	人 数
自 宅	17
介護老人福祉施設	0
介護老人保健施設	2
介護療養施設	0
医療機関	8
他の福祉施設	0
計	27

⑤ 新規入居者の入居時要介護状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
介護度3	0	1	2	1	0	2	0	1	1	1	2	0	11
介護度4	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	2	10
介護度5	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	5
計	3	2	3	1	1	3	1	2	2	4	3	2	27

⑥ 事故報告件数

	事故件数	
	2025年度	2024年度
転倒・転落	88	111
打撲・外傷	18	27
介 護	74	54
服 薬	26	46
異 食	4	16
誤 嚥	8	11
計	218	265

⑦ 苦情受付件数

苦情内容	件 数
介護等に関すること	0
設備に関すること	0
職員に関すること	0
その他	1
計	1

(4) 和幸園訓練業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別訓練	施設入居	69	57	81	59	70	42	54	94	96	83	82	76	863
	ショートステイ	20	10	18	8	20	4	14	24	21	11	10	10	170
集団訓練	施設入居	105	95	80	89	101	35	144	96	100	103	107	107	1,162
	ショートステイ	16	13	16	15	16	15	21	19	15	17	16	13	192
クロス ステップ	施設入居	0	0	0	0	0	0	0	49	76	67	58	44	294
	ショートステイ	0	0	0	0	0	0	0	18	16	9	6	4	53

(5) 年間行事報告

実施日	行事名	内 容
4月 23日・5月 28日・6月 18日	お茶会	各階から1名ずつ、利用者間交流
5月 1日・5月 8日	園庭の花植え	園庭の花植えをご利用者と共に行う
5月 19日、20日、21日、23日	のど自慢大会	各階ユニットで大会実施
6月 8日、19日、20日、30日	天ぶらの日	揚げたての天ぶらの提供
7月 4日・7月 18日	1条ユニット外出会	1条1丁目、2丁目それぞれで外出し食事
7月 8日、9日、10日、11日	ジンギスカン	ジンギスカン (施設前駐車場 屋外)
8月 21日	1条夏祭り (1条フロア行事)	1条2ユニット合同で実施
8月 25日	2条祭り (2条フロア行事)	2条3ユニット合同での屋台と仮装
9月 7日	ハピネス祭	法人全体の催し
9月 11日、12日、13日	敬老祭	祝寿対象者などへ記念品の贈呈、食事会等
10月 6日	秋祭り (1条フロア行事)	ショートステイユニットでの秋祭り
10月 30日	秋の味覚祭	昼食に秋の味覚 (栗ご飯・鮭のちゃんちゃん焼き・じゃがバター・きのこ汁・柿) の提供
11月 13日	4条祭り (4条フロア行事)	ゲーム、屋台、食事
11月 21日	寿司の日	お寿司を召し上がっていただく
12月 22日	餅つき	多目的ホールにて実施
12月 24日・12月 25日	クリスマス会	各ユニットで会食と催し物など披露
2月 3日	節 分	各ユニットにて豆撒き
9月 7日	ハピネス祭	法人全体の催し
2月 13日	鍋の日	各ユニットにて寄せ鍋 (13ユニット)
3月 18日	すき焼きの日	各ユニット実施 (13ユニット)
3月 27日	3条フロア行事	ユニットで食事会 (バイキング形式)
4月 ~ 3月	誕生会	ご利用者の誕生会を月単位で実施
4月 ~ 3月	クラブ活動	季節の創作・書道・麻雀実施
4月 ~ 3月	ユニット毎食事行事	各ユニットにて定期的な食事行事 (調理・出前)
4月 ~ 3月	バザー	月1回 施設内で買い物を楽しむ
4月 ~ 3月	季節の果物の日	月1回 季節の果物を提供
4月 ~ 3月	麻雀	随時開催

通所事業部各事業所の事業報告

和幸園デイサービスセンター ～ since 1993 ～

1. 事業報告総括

2025年度は、ご利用者にさらに安心して過ごして頂ける場所づくりを目指し、日中活動や各種行事の充実に取り組みました。毎月行事を実施し、多くのご利用者にご参加いただきました。以前から継続している買い物レクリエーションには参加希望が多く集まり、日常生活の助けになっているとのお言葉もいただいております。

経営面では、毎月一定数の相談をいただき、平均して月に2～3件の新規利用者を受け入れることができました。年間新規利用者30名、年間平均利用実績は30.42名と実績目標は達成しましたが、利用終了者が新規利用者数を上回り、さらなる新規利用者の獲得が今後の事業運営における課題となっています。

今後ご利用者はもちろん、ご家族や関係機関のニーズに的確に応えられるよう、専門性の向上に努め、安全・安心で笑顔あふれる事業所運営に取り組んでいきます。

2. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況

2026年3月31日現在

職 種	職員数	常 勤		非常勤		備 考
		専 任	兼 務	専 任	兼 務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士 併設事業所管理者兼務
生活相談員	4	0	4	0	0	介護福祉士4名 介護職員兼務4名
介護職員	14	5	4	5	0	介護福祉士10名 生活相談員兼務4名
看護職員	4	0	0	0	4	機能訓練指導員兼務4名
機能訓練指導員	5	1	0	0	4	柔道整復師1名 看護職員兼務4名

(2) 職員研修実施状況

事業所内研修：認知症ケア、感染症対策、虐待防止（身体拘束含む）、接遇、BCP等
個別研修：認知症介護基礎研修（新人職員）

(3) ご利用者状況（基準：2026年3月利用者）

① 利用登録者状況

2025. 3. 31	2025. 4. 1～2026. 3. 31		2026. 3. 31
登録者	新規登録者	廃止者	登録者
115	30	42	103

※新規登録者：法人内居宅介護支援事業所からの新規登録者 11件

※廃止者：長期間休止者の廃止手続きを年度末実施

③ 要介護状態区分状況

	要支援 1	要支援 2	要介護					計
			1	2	3	4	5	
2025 年度	9	18	35	26	12	1	2	103
2024 年度	15	20	37	27	10	3	3	115

④ 廃止理由状況

	2025 年度	2024 年度
ご逝去	5	4
施設入居	10	19
入院	12	5
引越し	1	1
その他	14	14
計	42	43

⑤ 月別利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2024年
実利用者数	98	102	101	96	97	95	99	96	95	89	86	87	1,141	1,102
延利用者数	825	895	804	866	810	793	829	768	757	677	668	709	9,401	9,276
要支援 1	55	46	44	42	43	44	52	44	42	36	33	37	518	499
要支援 2	131	113	93	121	128	106	110	103	108	108	114	109	1,344	1,325
要介護 1	295	353	307	320	299	283	281	270	305	267	237	245	3,462	3,452
要介護 2	230	251	216	220	206	215	215	202	174	153	159	170	2,411	2,533
要介護 3	89	105	125	139	110	122	142	118	97	83	103	131	1,364	1,034
要介護 4	2	1	0	5	4	4	8	12	13	12	4	1	66	136
要介護 5	23	26	19	19	20	19	21	19	18	18	18	16	236	297
開所日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	309	309
平均利用者数	31.73	33.15	32.16	32.07	31.15	30.50	30.70	30.72	29.12	28.21	27.83	27.27	30.42	30.02

(4) 苦情受付件数

	件 数
介護に関すること	0
職員に関すること	1
その他	1
計	2

(5) 事故報告件数

	件 数	うち医療機関受診	2024 年度
転 倒	18	1	12
介護上の事故	0	1	1
異 食	1	1	0
誤 薬	1	0	2
その他	8	0	0
計	28	3	15

(6) 行事及び活動実施状況

実施日	レク活動	実施日	レク活動
4 月 (3 日間)	スイーツレク	10 月 (4 日間)	紅葉ツアー
5 月 (5 日間)	小金湯さくらの森外出	11 月 (5 日間)	とんでんランチ
5 月 ~ 10 月	ドライブレク	12 月 (2 日間)	クリスマス会
6 月 (4 日間)	サケ科学館	1 月 (3 日間)	新年お楽しみ会
7 月 (4 日間)	交通資料館	2 月 (4 日間)	節分 (年男、年女記念撮影含む)
8 月 (3 日間)	夏祭り	3 月 (3 日間)	年度末ゲーム大会
9 月 (2 日間)	敬老会	4 月 ~ 3 月	ご利用者合同誕生日会 (毎月)
4 月 ~ 3 月 毎月 5~6 回 希望利用者での買い物レクリエーション			

和幸園芸術の森デイサービスセンター のえるの森 ～ since 2007 ～

1. 事業報告総括

2025年度は、感染防止対策を継続しつつ、各種行事を実施することができました。特に、ドライブレク等の外出活動では、ご利用者が普段とは違う表情で笑顔を見せる場面が多く、外出の大切さを改めて実感しました。また、敷地内の草花や家庭菜園作業、軽作業を通じて、自身の役割を感じていただけるよう工夫しました。送迎時には、ご家族の様子にも目を配り、職員間での情報共有や担当ケアマネジャーとの連携も行いました。

経営面では、年間平均利用実績9.50名を目標に取り組みましたが、実績は8.33名と目標を下回る結果となりました。利用者登録状況としては、法人内居宅介護支援事業所から10名、法人外居宅介護支援事業所から15名の計25名に利用を開始していただき、利用廃止者が21名と新規利用者数が上回ったことで、わずかではありますが前年度と比較して実績は向上しています。年間相談件数は38件（うち法人外居宅介護支援事業所28件）と増加傾向にあり、当事業所の認知症ケアへの信頼と評価が高まっていることを実感しています。事業所の強みや特色を分かりやすく発信し、安心感のある環境づくりに努めるとともに、個々のニーズに沿った専門性の高いケアを提案、実践することで、「選ばれる事業所」を目指していきます。

今後もご利用者やご家族の気持ちに寄り添いながら、地域に暮らす認知症の方々がその人らしく生活できるよう、認知症ケアに特化した質の高いサービスを提供していきます。

2. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況

2026年3月31日現在

職 種	職員数	常 勤		非常勤		備 考
		専 任	兼 務	専 任	兼 務	
管理者	1	0	1	0	0	介護福祉士 生活相談員兼務
生活相談員	3	0	3	0	0	介護福祉士3名 管理者兼務1名、介護職員兼務2名
介護職員	11	0	2	9	0	常勤2名、非常勤9名：介護福祉士7名
看護職員	3	0	0	0	3	機能訓練指導員兼務3名
機能訓練指導員	3	0	0	0	3	看護職員兼務3名

(2) 職員研修実施状況

事業所内研修：認知症ケア、感染症対策、虐待防止（身体拘束含む）、接遇、BCP等
個別研修：認知症介護基礎研修（新人職員）

(3) ご利用者状況（基準：2026年3月利用者）

① 利用登録者状況

2025. 3. 31	2025. 4. 1～2026. 3. 31		2026. 3. 31
登録者	新規登録者	廃止者	登録者
24	25	21	28

※法人内居宅介護支援事業所からの新規登録者 10件

② 要介護状態区分状況

	要支援 1	要支援 2	要介護					計
			1	2	3	4	5	
登録者	0	0	18	4	4	2	0	28

③ 認知機能状況

	記憶障害			計	失見当識			計
	重 度	中 度	軽 度		重 度	中 度	軽 度	
登録者	8	11	9	28	3	6	19	28

④ 廃止理由状況

	2025 年度	2024 年度
ご逝去	1	0
長期利用休止	0	1
入院・施設入居	11	15
その他	9	1
計	21	17

⑤ 月別利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2024年度
実利用者数	25	27	27	30	28	28	32	28	27	27	26	26	331	302
延利用者数	193	222	218	245	227	233	225	202	226	193	190	200	2,574	2,360
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	74	95	96	101	94	113	108	109	123	89	90	104	1,196	805
要介護 2	71	74	81	99	88	76	55	43	44	52	41	31	755	830
要介護 3	26	32	21	23	25	26	47	31	37	48	40	44	400	580
要介護 4	22	21	20	22	20	18	15	19	22	4	19	21	223	145
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
開所日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	309	309
平均利用者数	7.42	8.22	8.72	9.07	8.73	8.96	8.33	8.08	8.69	8.04	7.92	7.69	8.33	7.64

(4) 苦情受付件数

	件 数
介護に関すること	0
職員に関すること	0
その他	0
計	0

(5) 事故報告件数

	件 数	うち医療機関受診	2024 年度
転 倒	3	0	0
介護上の事故	0	0	0
異 食	0	0	0
誤 薬	0	0	0
その他	0	0	3
計	3	0	3

(6) 行事及び活動実施状況

実施月	レク活動
4 月	音楽療法
5 月	端午の節句・のえるの森誕生会～祝 18 歳～・苗植え・音楽療法
6 月	音楽療法
7 月	音楽療法
8 月	夏祭り・音楽療法・畑収穫
9 月	敬老会・音楽療法
10 月	外出会・音楽療法
11 月	音楽療法
12 月	クリスマス会・音楽療法
1 月	初笑い・音楽療法・避難訓練
2 月	節分・音楽療法
3 月	ひな祭り・音楽療法・避難訓練

和幸園自立訓練型デイサービスセンター あうるの森 ～ since 2018 ～

1. 事業報告総括

2025年度は、マシン運動や屋外歩行運動の他、ご利用者間で取り組めるゲーム等のレクリエーション活動を充実させ、ご利用者の満足度向上に努めました。ご利用者が楽しみながらリハビリに取り組み、身体機能の維持・向上が図れていることは、1年を通じて質の高いサービスを継続的に提供できた成果と考えています。

経営面では、年間平均利用者数が15.42名となり、前年度から0.97名増加し、予算目標を達成しました。登録者数は、新規ご利用者が20名、入院や施設入居、長時間型デイサービスへの移行等による利用終了者が22名となり、年度末時点の登録者数は71名となりました。地域包括支援センターをはじめ、法人外居宅介護支援事業所からの新規紹介も増加しており、当事業所を信頼いただいているということに感謝し、今後とも真摯にサービス提供に努めていきます。

今後もご利用者が楽しく過ごしながら身体機能の維持・向上を目指せる質の高いサービスを提供し、「ここに来てよかった」「元気になって帰れた」と感じていただけるよう、機能訓練に特化した魅力ある事業所づくりに努めていきます。

2. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況

2026年3月31日現在

職 種	職員数	常 勤		非常勤		備 考
		専 任	兼 務	専 任	兼 務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士／主任介護支援専門員 併設事業所管理者兼務
生活相談員	2	0	2	0	0	介護福祉士2名 介護職員兼務2名
介護職員	7	0	2	5	0	常勤2名、非常勤5名：介護福祉士4名 生活相談員兼務2名
機能訓練指導員	1	1	0	0	0	理学療法士

(2) 職員研修実施状況（事業所内）

開催日	研修名
4月21日	自立支援介護について
7月14日	身体拘束、虐待防止について
10月20日	感染症対策について
3月17日	BCPについて
随 時	認知症介護基礎研修（新人職員）

(3) ご利用者状況 (基準: 2026年3月利用者)

① 利用登録者状況

	2025. 3. 31	2025. 4. 1~2026. 3. 31		2026. 3. 31
	登録者	新規登録者	廃止者	登録者
男性	30	7	10	27
女性	43	13	12	44
計	73	20	22	71

※法人内居宅介護支援事業所からの新規登録者 6件

② 要介護状態区分状況

	要支援1	要支援2	要介護					計
			1	2	3	4	5	
男性	7	5	9	4	1	1	0	27
女性	21	11	9	2	0	1	0	44
計	28	16	18	6	1	2	0	71

③ 廃止理由状況

	2025年度	2024年度
ご逝去	1	0
長期利用休止	12	15
入院・施設入居	4	0
その他	5	5
計	22	20

④ 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2024年
実利用者数	72	76	75	75	70	72	74	72	70	70	71	69	866	793
延利用者数	337	326	326	359	281	349	364	317	301	306	276	344	3,886	3,655
要支援1	114	115	101	114	81	116	117	103	101	103	86	100	1,251	1,105
要支援2	108	97	101	98	87	94	99	86	84	85	71	91	1,101	1,089
要介護1	73	72	77	104	76	92	96	83	75	74	72	97	991	888
要介護2	31	30	34	31	25	31	36	29	26	28	31	38	370	391
要介護3	5	4	4	4	4	5	3	4	4	5	6	6	54	89
要介護4	6	8	9	8	8	11	13	12	11	11	10	12	119	93
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
開所日数	22	21	21	23	18	22	23	20	20	20	20	22	252	253
平均利用者数	15.32	15.52	15.52	15.61	15.61	15.86	15.83	15.85	15.05	15.30	13.80	15.64	15.42	14.45

(4) 苦情受付件数

	件 数
介護に関すること	0
職員に関すること	0
その他	0
計	0

(5) 事故報告件数

	件 数	うち医療機関受診	2024 年度
転 倒	6	1	5
介護上の事故	6	0	2
異 食	0	0	0
誤 薬	0	0	0
計	12	1	7

生活介護支援事業所グリーンハイム ～ since 1996 ～

1. 事業報告総括

今年度は、例年に引き続き、新たなレクリエーションや創作活動の導入、ならびに新たな動物の飼育を開始する等、充実した1年となりました。

経営状況としては、年間平均利用者数は目標であった14.0名に対し、実績は12.95名となりました。一方で、障がい支援区分5・6及び強度行動障がいのある方の利用割合が73.56%と大幅に向上、また、送迎サービス利用者における同区分の割合が79.41%となり、重度対応送迎加算（同区分利用割合60%以上対象）の算定を開始しました。これにより、利用実績は減少したものの、大きな減収とはならず、安定した事業所運営を継続することができました。今後も、身体・精神・知的に障がいのある方への幅広い支援を継続するとともに、当事業所の環境・設備を活用した重度の障がいのあるご利用者の受け入れを進めていきます。

2026年度は、相談支援事業所や他事業所との連携を強化するとともに、ショートステイ併用可能という強みを活かし、新規利用者の獲得を含めた利用促進に取り組みます。また、幅広い障がいへの対応が可能な事業所として、サービスの質の向上に努めます。

2. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況

2026年3月31日現在

職 種	職員数	常 勤		非常勤		備 考
		専 任	兼 務	専 任	兼 務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士 併設事業所管理者兼務
サービス管理責任者	1	1	0	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士／介護福祉士
生活支援員（介護）	16	3	0	13	0	常勤3名、非常勤13名（常勤換算10.0名） ：介護福祉士8名
看護職員	3	0	0	3	0	非常勤3名（常勤換算1.1名）

(2) 職員研修実施状況

事業所内研修：障がい特性、感染症対策、虐待防止（身体拘束含む）、接遇、BCP等

(3) ご利用者状況（基準：2026年3月実利用者数）

① 利用登録者状況

	2025.3.31	2025.4.1～2026.3.31		2026.3.31
	登録者数	新規登録者	廃止者	登録者数
男 性	20	3	3	20
女 性	19	3	3	19
計	39	6	6	39

※法人内相談支援事業所からの新規登録者 5件

② 年齢別状況

～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～	計	最年少	最高齢	平均年齢
0	2	7	12	6	4	6	2	39	24歳	84歳	51.87歳

③ 障害支援区分状況

	障害支援区分					計	平均区分
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6		
2025年度	1	3	6	8	21	39	5.13
2024年度	2	6	8	6	17	39	4.76

④ 廃止理由状況

	2025年度	2024年度
ご逝去	1	1
施設入居	1	1
入院	0	0
引越し	1	1
その他	3	3
計	6	6

⑤ 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2024年度
実利用者数	39	40	40	40	40	40	40	39	39	40	40	39	476	480
延利用者数	307	313	321	332	315	311	315	263	299	299	258	306	3,639	3,718
区分2	16	13	14	14	14	15	16	10	10	9	9	11	151	165
区分3	18	18	28	24	24	27	28	19	23	20	19	24	272	461
区分4	63	60	73	68	59	65	44	36	56	55	55	62	696	773
区分5	44	47	47	50	42	41	45	41	42	39	30	47	515	383
区分6	166	175	159	176	176	163	182	157	168	176	145	162	2,005	1,936
開所日数	24	24	24	25	24	23	25	22	23	23	21	24	282	282
平均利用者数	12.79	13.04	13.38	13.28	13.13	13.52	12.60	11.95	13.00	13.00	12.29	12.75	12.90	13.18
重度利用割合	72.96	76.04	68.85	71.99	73.65	70.10	74.92	79.47	74.92	75.92	72.48	72.55	73.56	66.65

(4) 苦情受付件数

	件数
介護に関すること	0
職員に関すること	0
その他	0
計	0

(5) 事故発生状況

	件数	うち医療機関受診	2024年度
転倒	1	0	2
介護上の事故	1	0	0
異食	0	0	0
誤薬	0	0	0
計	2	0	2

(6) 行事及び活動実施状況

実施月	レク活動	創作活動
4月	おやつパーティー5回	折り紙製作教室、鯉のぼり飾り製作
5月	園芸活動～花、野菜などの植物の苗を植えよう バーベキュー（中庭にて）3回	あじさい壁面製作
6月	バーベキュー（中庭にて）2回 外出レク	夏の飾り作り
7月	外出レク、かき氷	七夕飾り製作
8月	外出レク、かき氷	折り紙製作教室、秋の飾り作り
9月	外出レク	ハロウィン飾り製作
10月	焼き芋パーティー4回	ハロウィン飾り製作
11月	おやつパーティー5回	クリスマス飾り製作
12月	スカットボール大会5回、クリスマス会1回	正月飾り製作
1月	新春ビンゴゲーム大会5回、鍋料理の日1回	春の飾り作り
2月	節分の豆まき、鍋料理の日4回、トントン相撲大会5回	ひな祭り飾り製作
3月	ひな祭りおやつレク、モルック大会	桜の木・花制作

【スポーツレク活動】

スカットボール、ボウリング、ペットボトルボウリング、缶コロリングゲーム、ゲーゴルゴルフ、ゲーゴルゲーム、めくってポンゲーム、ペタンク、ペットボトルサッカー、豆まめリレー、お手玉ゲーム、アニマルゲーム、トントン相撲、輪投げ、的あてゲーム、トランプ、外気浴、モルック、バランスゲーム

【個別活動】

ストレッチ、将棋、オセロ、塗り絵、DVD視聴、日光浴、館内散歩、歩行訓練（廊下内）、折り紙脳トレ（漢字、算数、間違い探し等）

地域事業部各事業所の事業報告

和幸園指定居宅介護支援事業所 ～ since 2000 ～

1. 事業報告総括

地域との信頼関係を築くため、事業所として包括的支援の提供に取り組み、ケースに迅速かつ丁寧に対応した結果、南区内の地域包括支援センターや近隣のサービス付き高齢者住宅、サービス事業所等の関係機関からの新規ケース紹介の増加につながりました。「困ったときは和幸園居宅へ」というメッセージが広まり、地域から選ばれる事業所へと成長しています。

経営実績として、平均月間支援実績は要介護者ケース217.8件、要支援者ケース46.7件となり、合計264.4件となりました。年間新規相談は98件、平均月間支援実績は過去最高を更新し、健全な運営を維持しています。

今後は、高齢者人口の増加に伴う地域社会の支援体制強化に対応するため、日々の業務や研修を通じて学びを深め、さらなる成長を目指していきます。

2. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況

2026年3月31日現在

職 種	職員数	常 勤		非 常 勤		備 考
		専 任	兼 務	専 任	兼 務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士／主任介護支援専門員 併設事業所管理者兼務
主任介護支援専門員	6	5	1	0	0	社会福祉士3名、精神保健福祉士1名、介護福祉士5名
介護支援専門員	2	2	0	0	0	柔道整復師1名、社会福祉主事1名

(2) 職員研修実施状況

開催日	研修名	参加者
5月24日	今後の介護支援専門員に求められること	ケアマネジャー1名
5月28日	ヤングケアラーの実態と支援について	ケアマネジャー1名
6月10日	運営指導について改めて学ぼう 市連協 南区支部研修 ※講師派遣	ケアマネジャー1名
6月20日	カスタマーズハラスメントによるメンタルヘルスの影響を考える	ケアマネジャー1名
7月9日	運営指導について学ぼう (南区第1包括主催) ※講師派遣	ケアマネジャー3名
7月17日	南区第1地域包括支援センター主催 事例検討会	ケアマネジャー1名
7月30日	発達障害の方の実態や支援について 障がい支援センターおがる主催	ケアマネジャー1名
9月10日	看取り介護について (在宅ケア連主催) ※講師派遣	ケアマネジャー1名
10月16日	医療との連携について 市連協 南区支部研修	ケアマネジャー2名
10月23日	「千堂あきほさんと一緒に学ぼう! ~介護のあれこれ~」 市連協研修	ケアマネジャー1名
10月23日	認知症の方の行動・心理症状 (BPSD) の理解とケア	ケアマネジャー1名
10月29日	合同事例検討会 (SONPO 居宅、南区第1包括と実施)	ケアマネジャー3名
12月11日	カスタマーハラスメントについて 市連協 南区支部研修	ケアマネジャー1名
1月13日	札幌市南区地域包括支援センター事例検討会	ケアマネジャー4名
1月21日	「つながりの大切さ~人脈・ネットワークが未来を創る~」 市連協研修	ケアマネジャー1名
2月9日	魅力ある事業所づくりについて (南区第2包括主催) ※講師派遣	ケアマネジャー1名
2月19日	生活支援体制整備事業について 市連協 南区支部研修	ケアマネジャー1名
2月24日	自死遺族支援 大切な人を亡くされた方に 寄り添い・見守るということ	ケアマネジャー1名
3月26日	合同事例検討会 (SONPO 居宅と実施)	ケアマネジャー3名
3月27日	介護予防ケアマネジメントについて	ケアマネジャー1名

(3) 利用者状況

① 居宅介護支援事業所請求実績数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	未確定	計	要支援	計
4月	88	56	33	8	6	13	204	45	249
5月	98	57	35	8	7	12	217	44	261
6月	101	55	35	10	5	9	215	47	262
7月	106	59	37	11	4	5	222	51	273
8月	107	58	32	13	5	6	221	51	272
9月	106	58	35	11	4	6	220	49	269
10月	106	59	37	10	4	4	220	46	266
11月	109	56	34	10	6	6	221	45	266
12月	111	60	32	10	6	4	223	45	268
1月	105	58	30	9	6	8	216	46	262
2月	102	57	36	8	7	8	218	43	261
3月	100	55	37	11	7	6	216	48	264
計	1,239	688	413	119	67	87	2,613	560	3,173
前年度	990	676	320	113	97	79	2,275	542	2,817

② 新規利用者紹介経緯 (給付管理数)

	1包括	2包括	3包括	病院	法人	家族	電話	移管	事業所	区役所	予防C	来所	計
4月	1	3	3	0	0	1	0	1	1	0	0	0	10
5月	5	0	3	2	0	2	0	0	3	0	0	0	15
6月	7	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	11
7月	5	3	2	0	0	2	0	2	1	0	0	0	15
8月	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	5
9月	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
10月	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	5
11月	1	1	1	2	0	1	0	0	0	2	0	0	8
12月	0	2	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	6
1月	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	4
2月	5	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	9
3月	2	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	6
計	33	14	10	10	3	11	0	4	9	3	1	0	98
前年度	21	12	9	4	4	5	7	3	31	1	1	0	98

和幸園・グリーンハイムホームヘルプサービス事業所 ～ since 2012 ～

1. 事業報告総括

介護保険制度及び障害者総合支援法のもと、高齢者や障がいのある方が地域で安心して暮らすことができる地域福祉の充実が求められています。2025年度は、以前退職した登録ヘルパー1名が復帰しましたが、人材面での厳しい状況は継続しています。こうした中、持続可能な経営を目指し、経営規模の適正化を図るとともに、専門性と付加価値の高い支援に重点を置いた事業運営に取り組みました。あわせて、ヘルパー個々の心身の状況や家庭環境に配慮しながら、効率的なサービス調整の継続と新規ご利用者の受け入れを進めました。

経営状況としては、グリーンハイムにおいて居宅介護事業利用者が重度訪問介護事業へ移行したことや和幸園において利用頻度の高い利用者の終了が重なり、厳しい状況が続きました。積極的な新規利用者の受け入れにも努め、年間の稼働時間数は大きく変化しなかったものの、報酬面では減収する結果となりました。一方で、テレッサ mobile の有効利用を継続するとともに、新たにLINE ビデオ通話によるカンファレンスを導入し、業務の効率化と経費削減に取り組みました。

今後も、高齢者及び障がいのある方の在宅生活を支える役割に誇りを持ち、看取り介護も見据えながら、ご本人の意思を尊重した在宅支援を継続していきます。

3. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況

2026年3月31日現在

職 種	職員数	常 勤		非常勤		備 考
		専 任	兼 務	専 任	兼 務	
管理者	1	0	1	0	0	介護福祉士 サービス提供責任者兼務
サービス提供責任者	3	2	1	0	0	介護福祉士 3名
登録ヘルパー	13	0	0	13	0	介護福祉士 11名・ヘルパー2級 2名

【 職員体制の変遷 】

	2025年度	2024年度	2023年度
サービス提供責任者（介護福祉士）	3	3	3
登録ヘルパー	13	12	14
計	16	15	17

【 職員の月平均稼働時間数 】

	2025年度	2024年度	2023年度
平均稼働時間	40.3時間	40.1時間	37.7時間

【 ご利用者状況 】

	2026年3月
登録者数	92
新規利用	39
廃止	33

※法人内居宅介護支援事業所からの新規利用者 11件

※法人内相談支援事業所からの新規利用者 4件

(2) 職員研修実施状況

開催日	研修名	参加職種
4月19日	・救急隊員から学ぶ緊急時の対応 ・サービスの「困った！」がうまくいった事例集	ヘルパー 15名
5月24日	・最新の動向と事例から学ぶ虐待防止と身体拘束 ・認知症ケア ・熱くなる前に知識の総ざらい！～在宅医療の専門医に聞く熱中症対策～	ヘルパー 15名
6月21日	・基本の対策を忠実に！暑い時期乗り切る食中毒予防 ・家族の認知症の向き合い方	ヘルパー 15名
7月19日	・自分だったらで考えるプライバシーの保護	ヘルパー 15名
8月23日	・BCP 災害対策「ライフラインが止まったら？」 ・道内の訪問介護事業所の現状について	ヘルパー 15名
9月20日	・介護の「困りごと」を倫理的視点で考える	ヘルパー 15名
10月18日	・基本を押さえれば怖くない！自分で守って相手を守る感染症対策 ・認知症の母の記録	ヘルパー 15名
11月22日	・ストレスに気付いていますか？自分の心と体を守るメンタルケア ・認知症の母の記録	ヘルパー 16名
12月20日	・訪問介護における「自立支援」	ヘルパー 16名
1月17日	・介護・福祉専門弁護士と見直すカスタマーハラスメント対策	ヘルパー 16名
2月21日	・日々の取り組みで接遇への意識を高めよう	ヘルパー 16名
3月21日	・損害の大きさや頻度ではなく「質」で評価を ～事故再発防止～	ヘルパー 16名

(3) 利用者状況

① 介護保険制度 訪問介護事業 利用者人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	16	16	16	14	15	15	17	17	17	19	18	20	200
要支援2	12	12	13	12	13	13	12	13	12	13	13	12	150
要介護1	24	25	26	24	22	20	21	21	20	17	18	18	256
要介護2	11	12	15	16	16	16	16	15	15	16	16	15	179
要介護3	2	3	3	2	2	3	4	1	1	1	2	3	27
要介護4	1	1	1	1	1	1	1	2	3	2	1	1	16
要介護5	3	4	3	2	3	2	3	3	4	3	3	3	36
計	69	73	77	71	72	70	74	72	72	71	71	72	864

② 障害福祉サービス 利用者人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	4	4	4	3	3	5	5	5	5	6	3	4	51
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
	区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	区分6	5	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	43
重度訪問	区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	38

介護予防センター石山・芸術の森 ～ since 1995 ～

1. 事業報告総括

(1) 総合相談支援業務

・総合相談

年間の延べ相談数は前年度比で13件増加の87件となりました。今後も、身近な相談窓口としての認知向上に努めます。

・関係機関とのネットワークの構築

区や地区の連絡会議、南区介護予防センター連絡会議等を通じて、地域の情報や課題を把握し、地域支援に取り組みました。

・地域課題の解決に向けた地域関係者との検討と連携体制の構築

石山地区・芸術の森地区の両地区において、町内会連合会会長をはじめとする地域関係者と地区地域ケア会議を行い、課題の共有と解決に向けた検討を行いました。

(2) 介護予防教室の実施及び介護予防普及啓発業務

・介護予防教室の実施

センター主催の転倒予防体操教室を3会場で計99回開催しました。参加者数が定員に達した会場は、2グループに分ける等、状況に応じて柔軟に対応しました。

・介護予防教室の運営

介護予防教室への参加者が増加傾向にある中、各会場の収容人数に応じて安全な運営を行いました。また、参加者からの各種相談も増加しており、相談窓口としての認知度向上にも寄与しています。

・介護予防活動に取り組む機会の提供

両地区の社会福祉協議会や福祉のまち推進センター、福祉推進委員の会議・研修会・事業のオブザーバー参加や運営支援を24回実施しました。これにより、住民だけでなく役員や推進委員に対しても、介護予防活動に取り組む機会を提供することができました。

(3) 地域介護予防活動支援業務

・主体的な介護予防活動推進に向けた助言・支援の実施

両地区において、介護予防活動に関わる町内会の取り組みに対し、レクリエーション方法の提供や物品の貸出に加え、体力測定会や交流会の企画・運営に関する助言や支援を10町内会に対して行いました。

・地域の介護予防における担い手の育成

南区介護予防センター合同で「南区介護予防サポーター養成講座」を実施し、当センター担当地区より5名が参加しました。参加者は、体力測定の方法や体操の実技、認知症サポーター養成講座等を受講の上、当センター主催の介護予防教室の運営補助や地域活動の担い手として活動しています。

・高齢者への活動の場づくりの提案

南区介護予防センター合同で「南区シニアサロンフェスタ」を開催し、地域のサポーターの方々が活躍しています。

(4) 専門職と連携した介護予防強化業務

- ・住民が主体となる介護予防活動の立ち上げ支援

老人クラブが消滅した地域において、前期高齢者の参加・活動ニーズを把握し、町内会と連携して住民主体の介護予防活動の立ち上げ支援を行い、1団体を立ち上げました。

- ・既存団体、自主活動化した教室へ支援

専門職と連携した体力測定や口腔・栄養に関する健康講話を町内会組織や老人クラブ等9団体に実施しました。これにより、高齢者の身体機能の維持・向上につながりました。

- ・専門職と連携した介護予防センター運営事業の充実と強化

当センター主催の介護予防教室では、リハビリ専門職と連携して体力測定や講話を実施しました。参加者数は、石山地区2会場で30名、芸術の森地区1会場で20名でした。今後も専門職と連携しながら、介護予防の啓発活動を継続していきます。

(5) その他

石山まちづくりセンターの協力のもと、転倒予防体操教室の参加者による作品をまちづくりセンターで継続して展示しています。また、「介護予防マップ」や「活動の場一覧表」を作成し、地域や関係機関へ社会資源に関する情報共有を行っています。

2. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況

職 種	職員数	常 勤		非常勤		備 考
		専 任	兼 務	専 任	兼 務	
センター長	1	0	1	0	0	社会福祉士／精神保健福祉士／主任介護支援専門員 併設事業所管理者兼務
ケースワーカー	2	2	0	0	0	社会福祉士1名、介護福祉士1名

(2) 年間業務状況

① 相談事業<相談種別・割合>

	件 数		
	2025 年度	2024 年度	2023 年度
介護保険サービスの利用希望	17	17	15
介護保険制度以外（上記以外）	6	4	1
介護予防	16	28	26
保健福祉サービス	0	0	1
認知症について	8	4	0
心身の健康に関すること	12	12	10
家族の疾病・障がいに関すること	0	2	2
医療に関すること	2	0	1
住まいに関すること	3	0	0
苦 情	2	0	1
その他	21	7	9
計	87	74	66

② 介護予防普及・啓発事業<転倒予防体操教室 開催数状況>

	2025年度	2024年度	2023年度
芸術の森会館	26	27	23
石山会館	24	24	23
アクロスプラザ	49	49	49
計	99	100	95

<転倒予防体操教室 参加延べ人数>

	2025年度	2024年度	2023年度
芸術の森会館	509	407	223
石山会館	333	403	323
アクロスプラザ	815	1303	879
計	1,657	2,113	1,425

相談支援事業所グリーンハイム ～ since 2012 ～

1. 事業報告総括

札幌市障がい者相談支援事業（南区）を受託する相談支援事業所として、地域福祉ネットワークの強化をテーマとして、南区地域包括支援センター、障がい福祉サービス事業所、民生委員・児童委員を対象とした講演会・研修会を継続的に開催し、相互理解と連携促進を図りました。また、民生委員・児童委員協議会に対して相談支援事業所ガイドブックを配布し、定例会において委託相談支援事業所の役割について説明を行いました。さらに、南区内の相談支援事業所と南区保健福祉課職員による事例検討会を隔月で開催し、地域全体の相談体制の強化と相談支援の質の向上に取り組みました。加えて、相談支援専門員初任者研修のファシリテーターとして人材育成にも参画しています。

これらの取り組みにより、関係機関との連携が一層強化され、多様なケースへの効果的な対応が可能となりました。また、南区・豊平区の相談支援事業所合同交流会や、介護保険分野との事例検討会にも参加し、分野横断的なネットワークの構築を進めています。加えて、札幌市障がい者相談支援事業を受託する相談支援事業所で構成される札幌市相談支援部会の副部長として参画し、市内全域における障がい福祉に係る地域課題の抽出やより良い相談支援体制の構築に向けた検討にも取り組みました。

今後も丁寧な相談支援を継続するとともに、地域のケアマネジメントを担う中核的な事業所として、さらなる機能強化を図って参ります。

2. 事業運営状況

(1) 専門職の配置状況

2026年3月31日現在

職 種	職員数	常 勤		非常勤		備 考
		専 任	兼 務	専 任	兼 務	
管理者	1	0	1	0	0	社会福祉士 主任相談支援専門員兼務1名
主任相談支援専門員	2	1	1	0	0	社会福祉士2名／介護福祉士1名 管理者兼務1名
相談支援専門員	1	1	0	0	0	社会福祉士
相談員	1	1	0	0	0	社会福祉士

(2) 職員研修実施状況（外部研修及び合同事例検討会）

開催日	会議・研修名	参加職種
5月22日	パーキンソン病を患う方のケアと寄り添い方について	相談支援専門員1名
6月10日	南区地域部会こどもチーム研修会	相談支援専門員1名
7月2日	第98回南区在宅ケア連絡会	相談支援専門員1名
7月17・28日	札幌市成年後見推進センター	相談支援専門員3名
8月2日	彼女たちのSOSを受け止めるために	相談支援専門員1名
8月9日	ギャンブル依存症支援者研修会	相談支援専門員1名
10月3・4日	小児領域発達障がい児・知的障がい児 支援職員対象 SST 導入・実践のための研修会	相談支援専門員1名
10月8日	社会復帰支援	相談支援専門員1名
10月14日	南区地域部会子どもチーム研修会	相談支援専門員1名
10月15日	中央区自立支援協議会定例会	相談支援専門員1名
11月12日	全国身体障害者施設協議会 第23回地域生活支援推進研究会議	相談支援専門員1名
12月2日	児童相談所と障がい者相談支援事業所の合同研修会について	相談支援専門員1名
12月15日	地域生活定着支援事業懇談会	相談支援専門員1名
1月16日	医師による子ども虐待対応のための研修会	相談支援専門員1名
1月24日	依存症啓発研修会	相談支援専門員1名
2月4日	ひきこもり支援対策研修会	相談支援専門員1名
2月20日	人材育成とスキルアップ研修	相談支援専門員1名
2月24・25日	ほっと相談センター職員交換研修	相談支援専門員1名
3月10・11・12日	強度行動障害支援者養成研修 基礎研修	相談支援専門員1名
3月12日	障がい者効用の企業目線で学ぶ特別ゲスト講演会	相談支援専門員1名
3月24・25日	強度行動障害支援者養成研修 実践研修	相談支援専門員1名
4月～3月	事例検討会 全6回 / 巡回法律相談会 全6回	相談支援専門員4名

(3) 登録者状況（基本相談、計画等相談）

① 登録者数

2025. 3. 31	2025. 4. 1 ～ 2026. 3. 31		2026. 3. 31
登録者数	新規登録者	廃止者	登録者数
382	76	36 (内ケース移管 19)	422

② 障がい別登録者数

身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他	計
119	6	146	71	42	2	7	29	422

③ 相談支援給付件数（計画、継続支援、地域移行支援）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2024年度	52	47	41	44	40	60	45	33	42	42	35	39	520
2025年度	34	32	35	43	37	63	25	26	30	51	29	41	446

